

便に従いて買売し、風に趁りて時月に回還せしむれば便益ならん。今、奉献の礼物を將て数目を開坐す。咨して施行を請う。須らく咨に至るべき者なり。

今開す

白花段四匹

正統三年（一四三八）十月初四日

咨

注\*本文書はあて先を欠く。安里延氏は文中の「世代より相い通じて」「先祖の深交」の表現より、また『鄭氏家譜』に「正統三年戊午十月初四日、為礼儀事、奉使為通事、随正使明泰、前往暹羅国」とあることを指摘し（『沖繩海洋発展史』、一七二頁）、暹羅あての咨とする。

1-40-25  
琉球国王より暹羅国王あて、欲沙每等を遣わして公正な交易を請う咨（一四三九、四、九）

琉球国王、見<sup>げん</sup>に礼儀の事の為にす。

本国は東海に居するに縁<sup>よ</sup>り数万里の遥けきを隔つと雖も、未だ嘗て少しも心懐<sup>おこた</sup>を替らず。是を以て先祖王の重契を戴念し、理と

して宜しく逐歳遣使して以て嗣音を伸ぶべし。此の為に専ら正使欲沙每等を遣わし、安字号海船一隻に坐駕し礼物を齎送し、貴国に前詣して奉献せしめて以て遠意を表す。幸希わくは笑納せよ。仍お煩わくは四海、一家為るを念いて、今去く人船の両平に買売するを寛容し、早やかに回国せしめんことを。今、礼物を將て開坐し移咨す。請う、照驗して施行せよ。須らく咨に至るべき者なり。

今開す

官段五匹 各色段一十四 各色羅五匹 各色紗五匹 腰刀  
五把 彩色扇三十把 大青盤二十個 小青盤四百個 小青  
碗二十個 硫黄二千五百斤 原三千斤小と報ず  
右、暹羅国王に咨す

正統四年（一四三九）四月初九日 通事沈志良

咨

注（一）二十個 二千個の誤りか。